

京都 製缶・板金加工 通信 Vol.2

2011.11

今月のコラム

結果を出すコツは魚釣りも部品加工も工夫が肝心！

前回に引き続き、株式会社ハタナカを紹介する第2回目のコラムになります。今日は私の趣味の魚釣りについて書きたいと思います。私が釣りを始めたキッカケは知り合いの部品加工業の社長に誘われたのがキッカケです。初めは魚釣りに乗り気ではなかったのですが、実際にしてみるとあっという間に釣りの世界にのめりこんでしまいました。魚釣りの魅力は何といっても、ウキが水中に沈む瞬間です。普段私がしているウキフカセ釣りは撒き餌をするのですが、その為、本命の魚以外にも多く寄って来てしまいます。その中で本命の魚を釣る為、ウキや糸や針の大きさなど様々な工夫が必要になってくるんです。この魚との駆け引きが何とも言えない楽しみになっています。

今思えば魚釣りと部品加工は多くの共通点があるように感じます。部品加工も製品の精度や形状や材質によって、製作までの加工手順を考えなければ良い加工品を作る事ができません。その為に、多くの経験やノウハウが必要となり技術者の腕の見せ所になります。魚釣りも経験とノウハウが大きく結果に左右する一種技術職です。



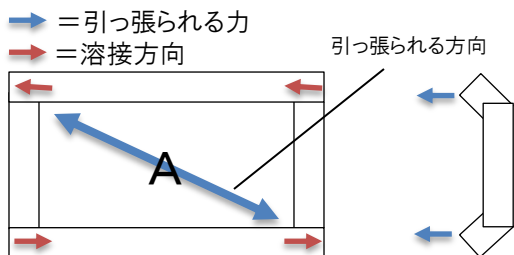
和歌山の大引漁港

知る人ぞ、知る
隠れた名スポット！
和歌山の大引漁港

今月の製缶・板金のコストダウンノウハウ

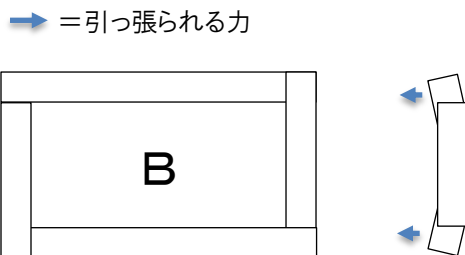
フラットバーよるフランジ製作におけるコストダウン事例

フラットバーによりフランジの製作をする際、Aのような構造を取ると溶接をする方向によってフラットバーが受ける張力の方向が安定しません。Bのように部材を組み合わせる事で溶接に張力のかかる方向を分散できるため、ねじれや対角歪みを少なくすることができます。それにより作業効率が大幅に改善されるとともに、製作されたフランジ自体の品質も大幅に安定します。



溶接作業する際に溶接する方向に考えなければならぬ。

改善



溶接作業する際にフランジを回転させるだけで、溶接方向は一定で済みます。

今月のトピックス

先月は『製缶・板金の技術ハンドブック』を皆様ご紹介、無料プレゼントしました。今月は『設備メンテナンス・修理技術ハンドブック』を無料プレゼントいたします。皆様の応募お待ちしております。

設備メンテ・修理の技術ハンドブック！

設備の調寿命化のためのメンテナンスのポイントを図でわかり易く解説！



ネジ、モーター等の身近な製品の事例を紹介！

保全活動の中でお役立ちすること間違いなし！

社長のつぶやき

最近思うのですが、子供たちの笑顔を増やしていきたいですね。私どもの本業を通じて、次の世代が働ける環境と場所を提供することが、私たちの世代がしなければならないことと感じます。そのために、また機械に向かって日本のモノづくりを支えていきます。